



支援部だより

宮城県立気仙沼支援学校
校内支援だより 第7号
令和8年3月3日発行
文責：支援部 阿部

今年度の居住地校学習が終了しました！



今年度は、小学部24名、中学部9名の児童生徒が、16校の小中学校で居住地校学習を実施しました。

直接交流では、特別支援学級や通常学級の友達と、体育や音楽で一緒に学習したり、学校行事に参加したり、一緒に給食を食べたりと、楽しい活動報告がたくさん聞かれました。また、間接交流では相手校の友達とお互いの自己紹介や作品、メッセージカードなどの交換を通して、お互いのことを知ったり、関心をもったりすることができました。



居住地校学習を行っての感想

自己紹介で名前や好きなことをお互い伝え合ったり、風船バレーでは友達からパスをもらったりしながら、笑顔で仲良く活動することができました。（担任）

運動会に参加し、綱引きや旗振り、ゴールテープ係など、たくさんの経験ができました。みんなと円陣を組んだりして、楽しく交流できました。（担任）

来年度も、作品などで交流できればと思います。相手校の担任の先生からのメッセージは、初めてでうれしかったです。（保護者）

居住地校学習は、本校の子供たちと地域の学校の子供たちがお互いのことを知り、将来にわたって地域で一緒に暮らしていく仲間だという意識をもつことができる、大切な機会です。小さな活動でも、継続して行っていくことで、よりよい関係を築いていくことにつながりますので、ぜひ御参加をお待ちしています。

小学部1年生から中学部2年生の児童生徒については次年度の希望調査を実施しました。新たに希望したい場合や、回数・形態などの御希望がありましたら、担任までお話しください。